

平成29年度「危険物施設総合研修訓練」の開催案内

平成29年8月21日
危険物保安技術協会

世代交代、大規模な危険物災害の減少により、危険物施設の火災を経験した消防職員、防災要員、自衛消防隊員等が少なくなっています。一方、危険物やガス火災の大規模な訓練は、さまざまな制約により実施困難な状況にあり、危険物施設火災への対処が各方面で憂慮されています。

そこで、当協会では、危険物などの災害に際して最前線で活動される方々を対象に、輻射熱体験と危険物に関する知識の習得を目的とした研修訓練を開催しています。

研修訓練の内容は、消火訓練、講義、図上訓練の3項目で構成されています。その目的は、危険物等火災の過酷な輻射熱からの安全確保、鎮火に至る過程の体験、災害対応能力の向上、危険物の基礎及び最新の知識の習得であり、体験型、全員参加型、視覚的という特徴を有した総合的な研修訓練として、危険物災害に対処される方々の安全かつ適切な消火活動に役立てていただくことを趣旨としています。

今年度は下記要領により開催いたします。

記

1. 開催日及び場所

講義・図上訓練を1日及び消火訓練を1日の合計2日間の開催となります。

- (1) 講義・図上訓練 平成29年10月31日(火) 東京会場
危険物保安技術協会 大会議室(別紙1参照)
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-13 ヒューリック神谷町ビル1F
TEL: 03-3436-2357
- (2) 消火訓練 平成29年11月1日(水) 横須賀会場
海上災害防止センター 防災訓練所(第二海堡)(別紙1参照)
〒238-0005 神奈川県横須賀市新港町13番地
TEL: 046-826-3660

※消火訓練を実施する第二海堡へは防災訓練所より渡船で移動

2. 受講対象者

危険物等の災害に際して最前線で活動される方等とし、特別な制限は設けません。

3. 定員

30名

※ 定員になり次第締め切ります。

4. 受講料

97,200円(教材費等、消費税を含む)

5. 研修訓練内容及び講師

(1) 研修訓練内容

初日に講義及び図上訓練、2日目に消火訓練を行います。

	時 間	研修訓練内容	概 要
1 日 目 (講 義 ・ 図 上 訓 練)	9:30 - 9:40	事務連絡	
	9:40 - 10:40	危険物災害に関する基礎知識 火災と燃焼・危険物の性状	<ul style="list-style-type: none"> ・火災と燃焼 ・危険物の種類と性状 ・事故発生時の基本事項 ・消防活動の基本
	10:40 - 10:50	休 憩	
	10:50 - 11:50	危険物災害に関する基礎知識 危険物施設火災活動事例	<ul style="list-style-type: none"> ・減圧残渣油貯蔵タンク火災 ・化学工場で発生した爆発火災 ・単独荷卸し中に発生したタンクローリー火災
	11:50 - 12:45	昼 食	
	12:45 - 16:45 (途中適宜休憩)	危険物施設における災害を 想定した図上訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・防災活動における安全管理 ・状況予測型図上訓練
2 日 目 (消 火 訓 練)	8:30- 9:20	第二海堡へ移動、施設説明	
	9:20- 9:45	消火器訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・オイルパン、地面上等で燃焼する灯油の 粉末消火器による消火訓練
	9:45-10:45	ホースハンドリング訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・ノズル及びホースの取扱訓練
	10:45-10:55	休 憩	
	10:55-11:25	基本消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・水噴霧による輻射熱の防御、プール火災・ スピル火災の消火
	11:25-11:55	ペーパー回収装置消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・LPG 火災の消火
	11:55-12:05	角タンク (オープンタンク) 泡消 火訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・角オープンタンク内で燃焼する灯油の 泡消火薬剤による消火
	12:05-13:05	昼 食	
	13:05-14:05	タンクローリー火災消火訓 練	<ul style="list-style-type: none"> ・タンクローリー (タンク部分のみ) の 油火災の消火
	14:05-14:15	休 憩	
14:15-15:15	油貯蔵タンク火災消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・油貯蔵タンクの油火災の消火 	
16:15-16:30	修了式		

* 1日目の受付は9:00、2日目の受付は8:00 から行います。

* 研修内容、時間配分は変更となる場合があります。協会ホームページでご確認ください。

(2) 講師

ア 講義・図上訓練の講師は、大規模石油コンビナートを有する消防本部・消防機関等において、石油コンビナート行政や多様な災害対応等に関する豊富な経験を有する幹部OB等です。

イ 消火訓練の教官は、海上災害防止センターの訓練業務担当職員です。

6. 受講手続き

(1) 受講お申込み

FAXでお申し込みください。別紙2又は当協会ホームページに掲載の受講申請書兼受講票をダウンロードして必要事項を記入し、下記「申込先」にFAX送信してください。この際、顔写真は不要です。当協会を受付後、受講番号を記入してFAXで返信しますので、FAX送信に使用した受講申請書兼受講票に、この受講番号を転記し(2)以降の手続きを行ってください。

申込み締め切り日は研修訓練開始日の20日前ですご注意ください。また、受講者の変更は、研修訓練開始日の10日前までとなります。

尚、既に受講希望者が定員に達した場合は、申込みをお受け出来ない場合があります。

(2) 本申請

ア 写真2枚をご用意下さい。このうち1枚は受講申請書兼受講票の記入事項を確認の上、所定の場所に貼付し、さらに修了証用として残りの1枚を同封し、(4)申込先に送付してください。

※ 脱帽・正面・縦30mm×横24mmの上三分身・6ヶ月以内に撮影したもの。2枚とも裏面に受講番号と氏名を記入してください。

イ 受講申請書兼受講票の捺印もれ、写真サイズ違い等がないように、ご注意ください。

ウ 受講申請書兼受講票は、研修訓練開始日の10日前（土日祝日を除く）までに当協会に到着するように送付してください。

(3) 受講料の振込み

ア 受講料は、研修訓練開始日の14日前（土日祝日を除く）までに当協会指定の銀行に所定の受講料を振込んでください。

※1 請求書、領収書の発行及び現金での受付は行いません。

※2 申請者の都合により受講を取りやめた場合、受講料は原則として返金いたしません。（受講者の変更は可能ですが、(1)の期限にご注意ください。）

※3 振込手数料は申請者のご負担になります。

イ 振込先等

(ア) 【指定銀行】 みずほ銀行 虎ノ門支店 普通 口座番号：2902492
口座名：危険物保安技術協会(キケンブツホアンギジュツキョウカイ)

(イ) 【振込名】 振込名(会社名又は個人名)に加えて受講番号を記入してください。
但し、会社名のみで振込む場合は、振込名及び振込予定日を事務局まで連絡してください。

(4) 申込先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-13 ヒューリック神谷町ビル1F
危険物保安技術協会「危険物施設総合研修訓練」事務局宛
TEL：03-3436-2357 FAX：03-3436-2254 担当者：陣内、時岡、森

7. 研修当日に持参するもの及び注意事項

(1) 持参するもの

ア 当協会から受講番号が記載された返信FAX用紙（受講票）

イ 筆記用具（消しゴム、シャープペンシル又は鉛筆）

(2) 注意事項

消火訓練を受講する際の注意事項を事前にご確認ください（別紙3）。

8. 修了証

- (1) 受講者には修了証を交付します。
- (2) 修了証の交付を受けた後に氏名を変更した場合、又は破損、紛失等した場合は、書換再交付申請することができます。手続きは、次のとおりです。
 - ア 「危険物施設総合研修訓練の書換・再交付申請書」(別紙4)に必要事項を記入し、事務局宛に申請してください。
 - イ 当協会より申請受付の連絡を受けた後、3,240円(消費税を含む)を振込むとともに、写真2枚(サイズ等は、6(2)アと同じもの)及び住所、氏名を記入し、392円切手を貼付した返信用封筒(定形)1通を送付してください。

以上

東京会場案内図

●危険物保安技術協会

〒 105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13

ヒューリック神谷町ビル1階

Tel 03-3436-2357 (事故防止調査研修センター研修課)



* 地下鉄日比谷線神谷町駅 4b 出口から徒歩 2分

横須賀会場案内図

- 海上災害防止センター防災訓練所（研修所）
〒238-0005 神奈川県横須賀市新港町13番地
TEL 046-826-3660



- * 京浜急行「横須賀中央駅」東口から約0.9km。徒歩約10分
- * JR「横須賀駅」から約2km。

危険物施設総合研修訓練（消火訓練）受講時の注意事項について

本研修訓練の2日目に実施する消火訓練は、海上災害防止センターの防災訓練所（横須賀市）に集合し、さらに渡船で第二海堡へ移動して行うものです。

消火訓練の受講にあたっては、下記の点にご注意ください。

1 集合場所及び集合時刻

(1) 集合場所

海上災害防止センター防災訓練所（研修所）1Fロビー

※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

(2) 集合時間

更衣が必要な方は更衣を済ませ、8:30 迄に講習会場に集合してください。

ア 万一、集合時間に遅れる場合は、必ず海上災害防止センター防災訓練所（研修所）に電話連絡を入れてください。ただし、交通機関の事故等、交通機関の責めに帰する場合であっても、集合時刻に遅れた場合は、受講をお断りする場合があります。また、受付は8:00より行いますので、現地で更衣される方は早めに集合してください。

イ 訓練日程、特に訓練終了日の終了時刻については、気象海象等の状況により変更する場合があります。これに伴う列車、航空券のキャンセル・予約変更等に関する一切の責任は負いません。

ウ 雨天でも実施しますが、天候等の理由によりやむを得ず中止等する事態が生じた場合は、研修訓練開始日の前日の午前中にご連絡致します。

(3) 宿泊希望者

海上災害防止センターの研修所にも宿泊施設がありますが、他の訓練の受講者の利用により満室の場合があり、また、食事の提供はなく、入所時間等の制約があります。近隣のビジネスホテル等を含めて、各自でお問合せ、予約等をお願いいたします。

2 必要書類・物品

(1) 受付時の必要書類

「受講票」（初日の受付時に提示したものを、持参してください）

(2) 実習時の服装

・長袖の作業服 ・野球帽型の帽子 ・タオル ・軍手

※1 綿製のものを着用してください。

※2 防火衣、ヘルメット、靴は貸与されます。

※3 消防用水や汗で下着が濡れることがありますので、替え下着の準備をお願いします。

※4 秋～冬には厚手の作業着や、トレーナ等防寒対策をお願いします。

(3) その他

- ・筆記用具
- ・健康保険証(加入者のみ)

3 その他

(1) 受講者の健康状態等について

ア 訓練を受講できるのは、実習訓練の実施に支障のない健康な方とします。健康な方でも消火訓練は相当ハードですので、訓練前日及び当日は健康管理に十分注意してください。

イ 身体能力に重大な影響を及ぼすような持病のある方、過去1年以内に入院経験のある方、現在通院加療中の方は、原則的に訓練を受講することができません。ただし、受講可能である旨の「医師の診断書」を持参できる場合は、受講を受け付けます。

ウ 海上災害防止センターでは、訓練中受講者に対して一般的な旅行傷害保険を付保しています。ただし、受講者自らの故意による傷害等の海上災害防止センター側の過失以外に起因する傷害等については、その責を負えない場合があります。

エ 船舶での移動があるため、船酔いするおそれのある方は、各自予防対策を講じてください。

オ 新型インフルエンザの疑いのある方は、訓練参加を見合わせてください。

カ 眼鏡使用者は、裸眼又はコンタクトレンズ着用で訓練に参加してください。水や蒸気などにより、訓練に支障が出る場合があります。

(2) 訓練中の食事

訓練当日の昼食は支給します(受講料に含まれます)。

危険物施設総合研修訓練に係る修了証の書換・再交付申請書

<p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p>危険物保安技術協会 理事長 殿</p> <p style="text-align: center;">申請者 会社名・所属</p> <p style="text-align: center;">氏 名 印</p> <p>危険物施設総合研修訓練に係る修了証の書換・再交付を願いたく、次のとおり申請します。</p>		
登録番号	第 号	
(フリガナ) 氏 名		
生 年 月 日	昭 和 ・ 平 成 年 月 日	
登 録 年 月 日	平 成 年 月 日	
申 請 理 由		
申請者の連絡先	〒 電話 : fax :	
※ 受 付	※ 手 数 料	※ 備 考

備考1. この用紙の大きさは、日本工業規格A4とします。

2. ※印欄には記入しないでください。